

## 水戸 優子 (大学院保健福祉学研究科兼務)

### 1. 著書

- 1) 共著, 医療情報科学研究所編, 水戸優子監修. , 2024年12月, 日本語, 看護がみえるvol. 1基礎看護技術第2版, 活動・休息援助, メディックメディア, 90-145

### 2. 学術論文

- 1) 原著論文, 共著者, 鈴木恵, 水戸優子, 金壽子, 2024年04月, 日本語, 誤嚥を起こしやすい患者を在宅で看取った家族の心情と患者との関わり, 査読あり, 日本健康医学会雑誌, 33 (1) , 125-132
- 2) その他 (報告等) , 責任著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史 , 岸川学, 樋口良子, 池田公平, 藤田峰子, 長山洋史, 福岡梨紗, 志村華絵, 佐々木杏子, 森 朱輝 , 高橋恭子, 五味郁子, 水戸優子, 2024年10月, 日本語, 保健福祉学部における多職種連携の推進を目的とした「教育用模擬電子カルテ」の導入と教育効果 : パイロットスタディ, 査読あり, 保健医療福祉連携誌, 17(2), 127-137
- 3) その他 (報告等) , 責任著者, 大須美貴, 水戸優子, 加藤木真史, 2025年03月, 日本語, COVID-19影響下で新人看護職員を初めて指導した実地指導者の困難に関する探索的分析, 査読あり, 神奈川県立保健福祉大学誌, 22(1), 3-17
- 4) 原著論文, 責任著者, 渡邊恵, 長島俊輔, 玉川 淳, 加藤木真史, 福岡梨紗, 佐々木杏子, 池田公平, 樋口良子, 岸川学, 森 朱輝, 長山洋史, 藤田峰子, 志村華絵, 五味郁子, 高橋恭子, 水戸優子, 2025年03月, 日本語, 「教育用模擬電子カルテ」を活用したIPEの実装と教育効果—紙カルテと電子カルテの事例提供方法の比較に基づく検証—, 査読あり, ヒューマンサービス学会誌, 2024 Vol. 2, 44-52

### 3. その他の著作

- 1) 水戸優子, 2024年06月, 基盤研究(C)腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの普及と実装 (課題番号20K10662) . , 科学研究費助成事業研究成果報告書, pp. 2-9
- 2) 水戸優子, 2025年03月, 巻頭言 6巻発刊に寄せて, 看護人間工学会誌, 6巻, p. 1
- 3) 水戸優子, 2025年03月, 巻頭言 編集委員長のミッション, 日本看護学教育学会誌, 34巻(3), p. 1

### 4. 学会発表等

- 1) 口頭, 責任者, 渡邊 恵, 長島俊輔, 加藤木真史, 佐々木杏子, 森 朱輝, 水戸優子, 教育用模擬電子カルテを用いてチームで連携・協働する力を育む～IPEを通じた看護実践能力の強

- 化～, 日本看護学教育学会第34回学術集会交流セッション, 2024年08月
- 2) 口頭, 責任者, 大須美貴, 水戸優子, COVID-19影響下で新人看護職員を初めて指導者実地指導者の困難に関する探索的分析, 日本看護学教育学会第34回学術集会, 2024年08月
  - 3) 口頭, 責任者, 長島俊輔, 森朱輝, 細谷陽, 水戸優子, Augmented Reality技術を活用した看護技術教材の教育的効果の検証, 第6回看護人間工学会学術集会, 2024年09月
  - 4) ポスター, 筆頭者, 水戸優子, 富田川智志, 國澤尚子, 首藤英里香, 平田美和, 若村智子, 西田直子, 地域・在宅における介護者と介護従事者の腰痛予防対策に関する文献検討, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
  - 5) 口頭, 共同研究者, 西田直子, 水戸優子, 若村智子, 平田美和, 首藤英里香, 富田川智志, 國澤尚子, 看護基礎教育教員の移動技術教育内容と移乗・移動用具の活用の変化: 2018年度と2023年度の比較, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
  - 6) ポスター, 責任者, 寺本千鶴子, 川名裕治, 慶貴子, 水戸優子, 日本国内における「排尿ケア」の概念分析, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
  - 7) 口頭, 共同研究者, 芳村直美, 水戸優子, 三角あゆみ, 心身衰弱した超高齢者に対する回復に向けた食事ケアの実践報告, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
  - 8) 口頭, 共同研究者, 西田直子, 水戸優子, 若村智子, 平田美和, 首藤英里香, 富田川智志, 國澤尚子, 交流セッション2, 対象者の特性に応じた用具を活用した移動動作技術, 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集, 2024年10月
  - 9) ポスター, 共同研究者, 鮫島輝美, 合田友美, 本間典子, 菊原美緒, 水戸優子, 鈴木智恵子, 高島真美, 田仲浩平, ウィリアムソン彰子, 米満潔, 医療技術教育におけるAR教材・VR教材が開く新たな教育演習空間の発見, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月
  - 10) 口頭, 共同研究者, 鈴木智恵子, 米満潔, 菊原美緒, 合田友美, 田仲浩平, ウィリアムソン彰子, 水戸優子, 本間典子, 高島真美, 鮫島輝美, 交流集会, 看護に役立つデジタル技術～デジタルって何だろう, 第44回日本看護科学学会学術集会, 2024年12月

##### 5. 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本看護技術学会, 理事, 研究活動推進委員長, 2024. 4. 1～2024. 6, 看護技術の研究活動の推進, 学術集会最優秀賞の選出, 研究助成の選考, オンライン研修会開催の企画・運営を行った. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った
- 2) 一般社団法人日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員 (移動動作評価班/食事ケア班), 2024. 4. 1～, 移動技術の普及活動, 研究活動を行った.
- 3) 一般社団法人日本看護学教育学会, 理事, 評議員, 2024. 4. 1～, 5回の会議に参加した.
- 4) 一般社団法人日本看護学教育学会, 編集委員長, 専任査読者, 2024. 6. ～, 年4回の編集委員会を開催し, 年6回のオンラインジャーナルの発行及び年3回の学会誌の発行を行った.
- 5) 一般社団法人日本看護学教育学会, 副倫理委員長, 2024. 6. ～, 年8回の会議に参加し, 看護学教育における倫理指針の作成, ならびに教育倫理に関するオンラインセミナーの企画運営

を行った。

- 6) バイオメカニズム学会, 評議員, 2024. 4. 1～, 学会運営, 優秀論文の審査を行った。
- 7) 公益社団法人日本看護科学学会, 代議員, 社会貢献委員, 2024. 4. 1～, 市民公開講座のパンフレット作成ならびに次世代育成プログラムの企画運営を行った。
- 8) 看護人間工学会, 理事長, 評議員, 2024. 4. 1～, 学会の企画運営, 事務局運営を行った。
- 9) ヒューマンサービス学会, 理事, 事務局長, 2024. 4. 1～, 学会の総務, 広報, 学会誌編集, 会計等の活動
- 10) ヒューマンサービス学会, 学術集会企画委員, 2024. 4. 1～2024. 11. 16, 第2回ヒューマンサービス学会学術集会の企画
- 11) 聖路加看護学会, 学術集会企画委員, 2024. 4. 1～2024. 9. 28, 第29回聖路加看護学会学術集会の企画

## 6. 社会貢献

- 1) 横須賀共済病院の4部門の看護職者研究グループの研究指導, 2024. 6. ～2025. 3.
- 2) 東名厚木病院の10部門の看護職者研究グループの研究指導, 2024. 4. ～2025. 3.
- 3) 学内実習ステーション企画として横須賀市在住の住民に呼びかけ, 看護技術論Ⅰの演習にて模擬患者育成プログラムを実施した. , 2024. 12.
- 4) 神奈川県立保健福祉大学同窓会の顧問として役員会に出席し, 同窓会の企画運営の助言を行うとともに, 神奈川県立保健福祉大学との連携調整を行った. , 2024. 4. ～2025. 3.

## 7. 講演, 放送

- 1) 医臨学産連携ニーズ発表・交流会inIDEC横浜by東京工科大学(協力神臨工). ニーズ⑩: 「ARをハンズフリー(音声指示)でスマートに使いたい」講師, 2024. 12. 16.
- 2) 神奈川県看護協会令和6年度認定看護管理者教育課程セカンドレベル質管理Ⅱ, 看護サービスの質保証(文献の読み方)講師, 2025. 1. 23.
- 3) 日本看護技術学会「第16回全国キャラバン研修会ジェネラルナースの技術力を高めよう! 移動動作技術のきほんと用具の活用」を企画運営. , 2025. 3. 9.
- 4) 東京家政大学健康科学部看護学科FD「DX(あるいはAR, VR等)技術を活用した看護教育～教育活動を研究成果につなぐ～」講師, 2025. 3. 11.

## 8. 学会等での活動

- 1) 日本看護学教育学会第34回学術集会、10教授方略群座長. , 2024. 8. 20.
- 2) 日本看護学教育学会第34回学術集会、指定発言者. オンライン化した学会誌の今後の在り方を考える. 理事会企画セッション5, , 2024. 8. 20.
- 3) 日本看護技術学会第22回学術集会講演抄録集、キーセッションⅥ, 事象を深く読み解くための混合研究法の実際. 講演者亀井智子. 座長. , 2024. 10. 27.

- 4) 第44回日本看護科学学会学術集会一、般演題29, 看護技術・ケアイノベーション1. 座長 . , 2024. 12. 8.
- 5) 第44回日本看護科学学会学術集会、市民公開講座, 講演者榊原千秋 快うん防災一もしもに備えて, 日ごろから「気持ちよく出す」ことを整えましょうー. の企画, 広報, 当日運営, 2024. 12. 8.

## 9. 学内教育活動

### 1) 学部

看護学原論 (15コマ), 看護倫理 (8コマ), 看護技術論 I (8コマ), II (2コマ), III (4コマ), ヘルスアセスメント論 (2コマ) を担当した。文献講読、ディベート、学生によるプレゼンテーションを導入した。さらに看護管理学の非常勤教員調整と演習担当3コマ分を行った。 , 2024. 4～2025. 3

基礎看護学実習 I (10名担当), II (10名担当), III (全体指導), 統合実習 (2名) を担当し指導を行った。 , 2024. 4～2025. 3

### 2) 大学院 (博士前期)

博士前期課程科目: 基礎看護学特論・演習, 看護倫理, フィジカルアセスメントを担当し, 学生2名の指導教員を務めた。 , 2024. 4～2025. 3

### 3) 大学院 (後期課程)

博士後期課程科目では1名の指導補助教員を行った。 , 2024. 4～2025. 3

### 4) 実践教育センター

教員養成科目: 看護教育課程論 (基礎看護学) 4時間, 看護論演習4時間を担当, 2024. 7

臨地実習指導者科目: 看護論演習授業を計12時間担当, 2024. 7

## 10. 学内各種委員会活動

- 1) 研究科運営会議委員会, 2024. 1～, 大学院副研究科長として研究科長を補佐した。特記すべきこととして, 大学院9月修了, 満期退学の制度化および養護・栄養専修免許可能なコース設置に向けて, 会議等の開催, 申請者のサポート等の学内調整を行い設置の承認を得た。さらに職業実践力育成プログラム (BP) の看護領域について再申請 (厚生労働省) を事務局と相談しながら進め, 2025年2月に承認を得た。 通年。
- 2) 研究科入試委員会, 2024. 1～, 大学院入試が滞りなく行われるように入試委員長や関連各者と相談しながら入試業務を行った。
- 3) パーチ委員会 パーチリーダー, 2024. 1～, パーチ部屋の管理・運営, 新入生歓迎ウェルカムランチ, 七夕, メタバースパーチのプレ企画, もちつき大会, 年2回のニュースレター作成・発行, ヒューマンサービス関連科目担当者情報交換会を企画・運営した。また, 同窓会とヒューマンサービス学会との共催企画を運営した。

- 4) 神奈川県立保健福祉大学同窓会顧問, 2024. 1～, 同窓会活動を支援し、同窓会とヒューマンサービスパーチの共催にて、国家試験前の学部4年生および全学生のための「餅つき大会」を企画、運営した。
- 5) ダンスサークルD-KRUP顧問, 2024. 1～, 横須賀市から招待され横須賀コーストストリートパフォーマンスにてダンスを披露した。

#### 11. 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 基盤研究 (C), 代表者, 水戸優子, 地域・在宅向け腰痛予防対策指針をふまえた移動技術ハイブリッド型研修システムの構築. , 1, 470千円, 2024年04月, 2025年03月
- 2) 基盤研究 (B), 分担者, 鮫島輝美, 教育DX化にともなう技術教材の教育的意義・活用の開発を目指したアクション・リサーチ. , 250千円, 2024年04月, 2025年03月

#### 12. 学内研究助成金の受託

- 1) 研究助成 B (奨励研究), 分担者, 渡邊恵, 加藤木真史, 佐々木杏子, 長島俊輔, 森朱輝, 水戸優子., 「情動知能の可視化による学習効果と教育方法の一考察 -2年次看護学生の縦断調査より-, 310千円, 2024年07月, 2025年03月